

折り紙ダイナソーズ プレミアム

ORIGAMI DINOSAURS

PREMIUM



山口真・著

YAMAGUCHI MAKOTO

ソシム

CONTENTS

BASIC

P 022 基本の折り図記号と技法

P 026 本書の使い方と紙

INSTRUCTION

P 028 **Dimetrodon**

ディメトロドン

P 125 **Brachiosaurus**

ブラキオサウルス

P 036 **Plesiosaurus**

プレシオサウルス

P 138 **Amargasaurus**

アマルガサウルス

P 045 **Parasaurolophus**

パラサウロロフス

P 148 **Baby Tyrannosaurus**

子供のティラノサウルス

P 054 **Maiasaura**

マイアサウラの親子

P 152 **Archaeopteryx**

始祖鳥

P 056 **Triceratops**

トリケラトプス

P 165 **Spinosaurus**

スピノサウルス

P 066 **Pachycephalosaurus**

パキケファロサウルス

P 178 **Carnotaurus**

カルノタウルス

P 078 **Stegosaurus**

ステゴサウルス

P 191 **Pyroraptor**

ピロラプトル

P 095 **Pteranodon**

プテラノドン

P 208 **Tyrannosaurus**

ティラノサウルス

P 104 **Rhamphorhynchus**

ランフォリンクス

P 223 **T-rex**

ティラノサウルス

P 116 **Quetzalcoatlus**

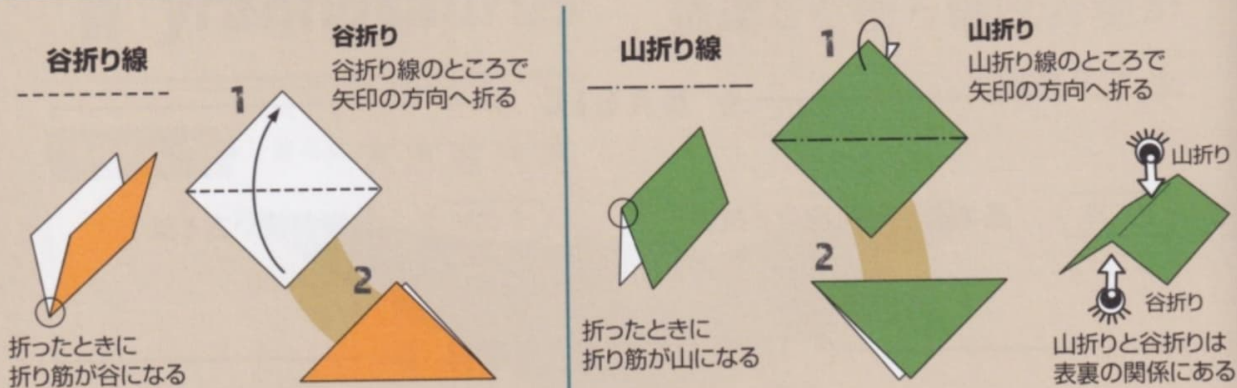
ケツアルコアトルス

P 238 作家紹介

基本の折り図記号と技法

本書は、難しい折り紙作品を折るための本です。折り図（折り方の説明図）には折り紙の専門用語や特殊技法が使われており、初めて見る方には難しく感じられるかもしれません。ここに示したのは基本ですが、分からない用語や折り方に出会ったら、このページを見直してみてください。「基本」ですから必ずしも同一ではありませんが、解決の糸口が見つかるでしょう。

折り線 紙を折る記号で、山折りと谷折りの2種類がある

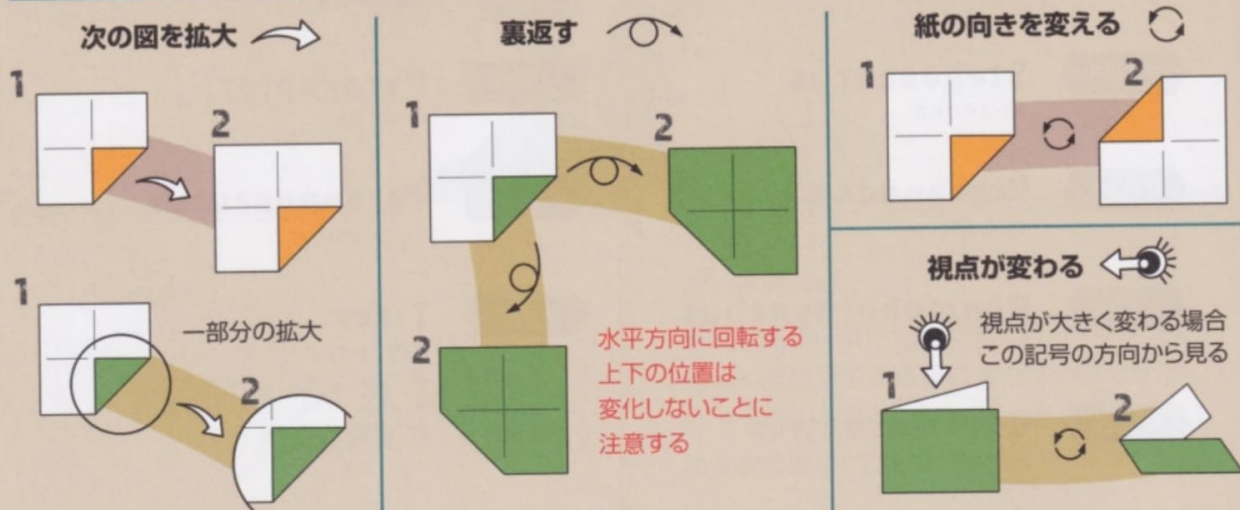


多くの折り線がある図でも、折り線は「山折り」「谷折り」の2種類だけです。折り筋の位置と向きをよく確認してみましょう。

矢印と記号 折ったり沈めたりといった、紙を折る位置や、動かす場所を表したり補助したりする記号

<p>手前で折る</p>	<p>後ろへ折る</p>	<p>折り筋をつける</p>	<p>段折り</p>	<p>中わり折り</p> <p>詳細は次ページで説明</p>
<p>ひろげる</p>	<p>引き出す・差し込む</p>	<p>押す・つぶす・沈める</p>	<p>折り方がわからないときは、紙と図を比較し、折り線と矢印の位置を確認し、矢印の起点をつまんで終点に合わせ、紙の動きを確認しましょう。</p>	
<p>かくれた線・かくれた形</p>	<p>直角</p>	<p>同じ場所を示す</p>	<p>注意するところ</p> <p>○が示す点やカドは、折り筋が通る点、折るときに合わせるカドなど、基準の位置を表す</p>	

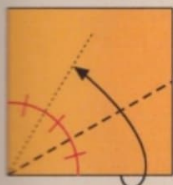
紙の向きと視点・図の移動 紙の向きや、図の大きさに関する記号



紙を裏返したり回転させたりすると、紙の向きを見失って間違えたり、分からなくなったりすることがあります。紙の表裏や上下左右、折り筋の位置を十分に確認して、図の変化を正しく把握しましょう。

等分記号の使い方

角度の等分



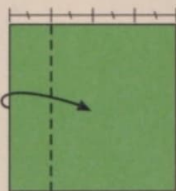
等分記号で示された位置で折る・折り筋をつける



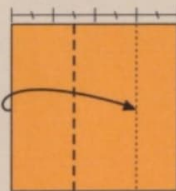
等分記号で示された位置で半分の角度で折り筋をつける

長さの等分

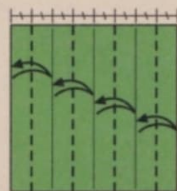
等分が細かい場合には矢印を省略することもある



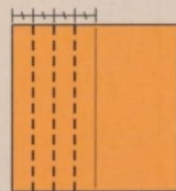
等分記号で示された位置で折る・折り筋をつける



等分記号で示された位置に合わせて折る・折り筋をつける



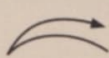
既にある折り筋の半分の幅で折り筋をつける



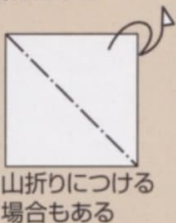
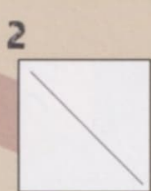
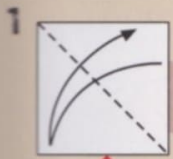
等分記号の範囲で示された等分の折り筋をつける

基本的な技法 折り紙でよく使われる、基本的な折り方や技法

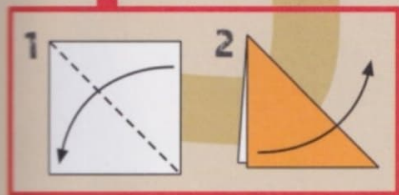
折り筋をつける



一度折ってから戻して折り筋をつける

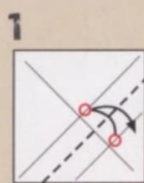


山折りにつける場合もある

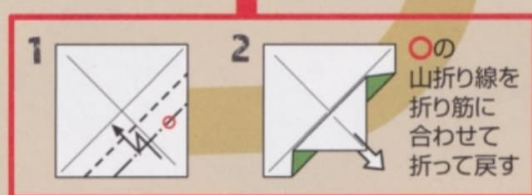
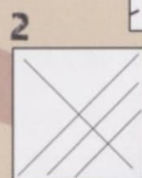
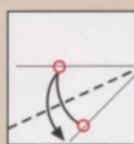


特殊な折り筋のつけ方

折り筋同士を合わせて折り筋をつける



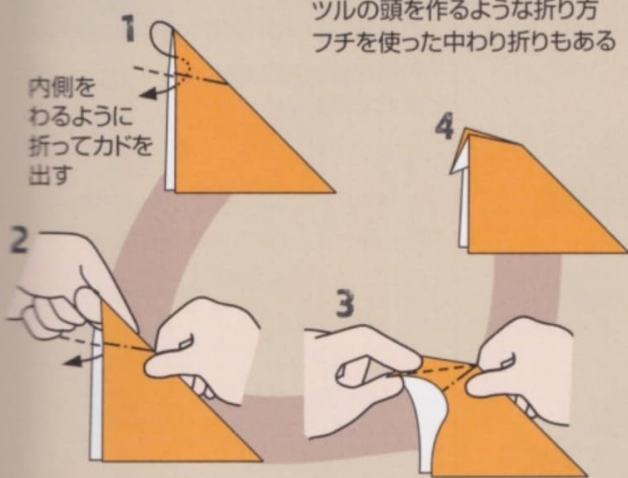
斜めにつける場合もある



○の山折り線を折り筋に合わせて折って戻す

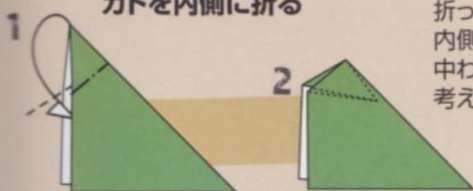
中わり折り

S字型の矢印で表されるツルの頭を作るような折り方
フチを使った中わり折りもある

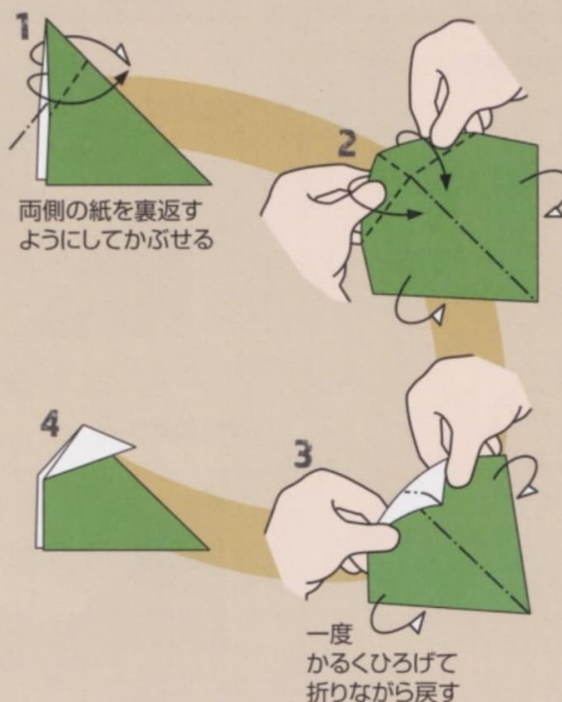


カドを内側に折る

折ったカドが内側にかくれる中わり折りの一つと考えることもできる



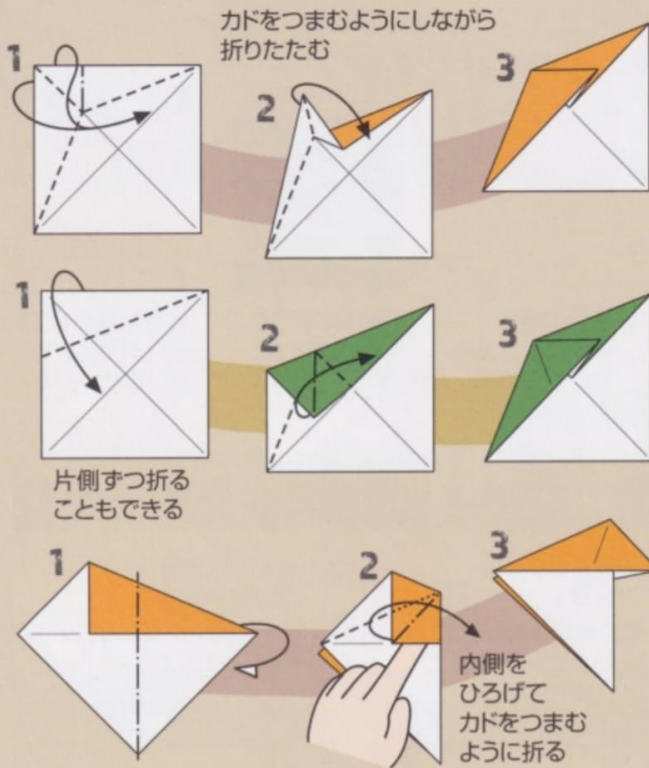
かぶせ折り



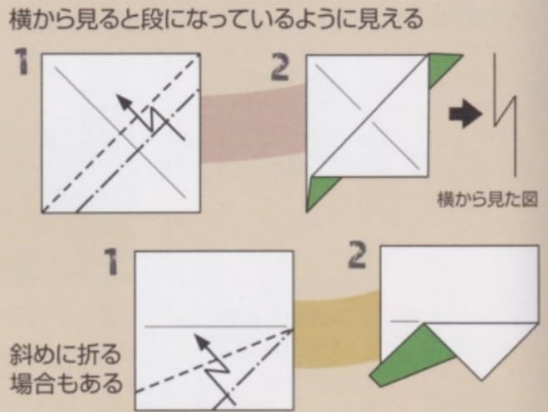
両側の紙を裏返すようにしてかぶせる

一度かるくひろげて折りながら戻す

つまみ折り 「カドをつまむように折る」とも表現する



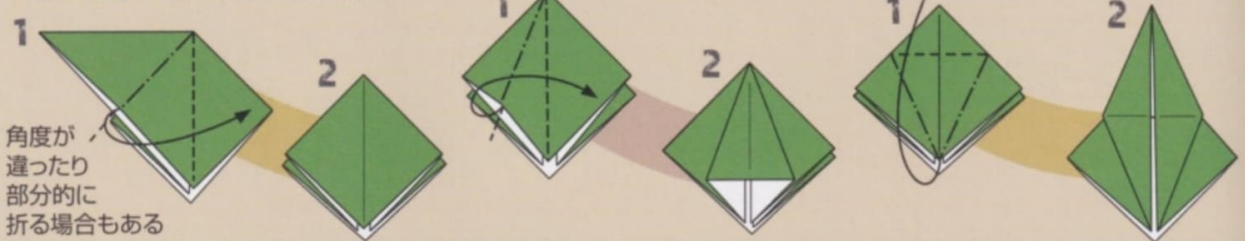
段折り ← 山谷2本の折り線でヒダを作る



引き寄せ折り

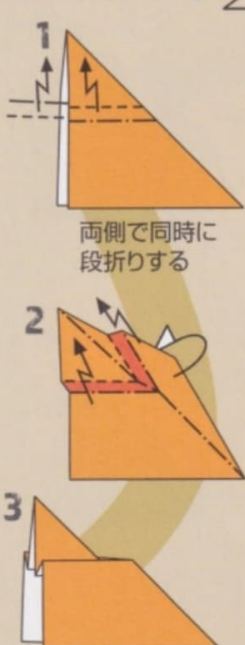


内側をひろげてつぶすように折る

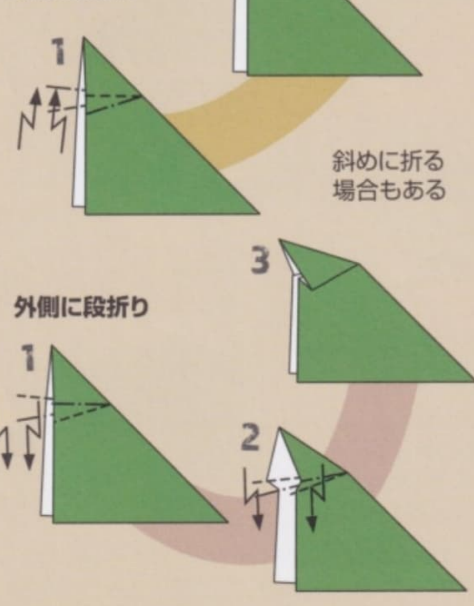


少し難しい技法 複雑な作品で使われる、難易度の高い技法

両側で段折り



内側に段折り



内側に押し込むように両側で段折り



沈め折り 沈めるように折った部分が内側にかくれる

1 形を見失わないよう紙をひろげたときに沈める部分の形をよく見る

2 **Closed sink** クローズド・シンク

3 沈め折りする部分に折り筋をつける

4 この重なりをひらかない

5 途中の図1 一度ひろげて、**■**のまわりの折り筋を山折りにつけ直す

6 途中の図2 折っている折り筋で**■**の部分で沈めながら折りたたむ

7 紙のヒダがひらいた(open)形になっている

4 **■**の部分で沈めるように折る

4 **■**の部分で沈めるように折る

6 途中の図2 折っている折り筋で**■**の部分で沈めながら折りたたむ

折り筋をつける

この本では折り筋をつける工程の図が多く出てきます。中には、複雑な折り筋のつけかたを示した図もあります。このように矢印が重なっている図は、左右や上下に同じ折り筋をつけることを示しています。

矢印が重なっている図は2つに分けて考える

1 半分の角度で折り筋をつける

2 カドをそれぞれ○と●に合わせて折り筋をつける

裏から見た図

枠線で囲った範囲の裏側の部分を見た図

裏から見た図

裏側は左右反対向きになる

折っている場合もある

裏から見た図

間違えやすいところ、難しいところに多いので注意してよく確認する

本書の使い方と紙

作品情報について 折り紙作品の情報を、各折り図ページの始めに示しています

英語タイトル
Dimetrodon
デイメトロドン

作者名(日・英)
Creator 川畑 文昭 Kawahata Fumiaki
Paper 正方形1枚 (35x35cm推奨)
Level ★★★★★

推奨サイズ
市販の折り紙用紙を使う場合の推奨サイズ
折りにくい場合は一回り大きな紙を使う

恐竜データ
恐竜の分類・時代・大きさ・生息地域を表記

Dinosaurs Data
盤竜類/ペルム紀
約3.3m/北アメリカ

作例写真
お手本にしよう

難易度表記
★が多いほど
難しい作品

★★★★★ 易しい
↑ ↓
★★★★★ 難しい

紙について 「試し折り」の紙と「本番折り」の紙

◆身近な紙で試し折りを

本書に掲載の作品は、最後まで手順通りに折っても上手に仕上げることが難しいものばかりです。まず「試し折り」をしてから、お気に入りの紙で「本番折り」をすることをお勧めします。

◆試し折りの紙

●市販の折り紙用紙

正方形に切って折り紙用として売られている紙です。片面に色がついていて表裏が分かりやすく、安くて折りやすいのが特徴です。一般的なサイズは15cm四方ですが、その他に24cm、35cmなどさまざまな大きさがあります。

●薄手の上質紙・クラフト紙

安価で入手が容易で、比較的丈夫で折り易い紙です。大きな正方形が必要なら、これらの紙の大判を、自分で正方形に切ります。

●ホイル紙(金・銀の折り紙)

のりづけや固定をしなくても形を作りやすいので、仕上げの形を想像しながら折ることができます。

試し折りをしたら…

1. 使った紙の大きさや厚みが適切だったか考える。
2. 本番折りで間違えないよう、つまずいた工程を確認。
3. 完成形に影響する「ぐらい折り(折る位置に明確な基準がない折り)」は、どのくらい折るか検証。
4. 紙が破れたり割れたりしたところを確認し、途中で裏から補強するなどの工夫を考える。
5. 本番折りの紙は、試し折りした紙と完成形の大きさを確認して「作りたい大きさ」になる紙を用意。

◆本番折りの紙を選ぶための専門知識

●大きさ

大きくて特殊な紙を使いたい場合は、大判の紙を正方形に切って使います。一般的に入手できる大きな紙に、四六判(788×1091mm)があります。

●厚さ

洋紙の厚みは連量(1000枚重ねたときの重さ)という単位が参考になります。折り紙向きなのは70kg以下の紙です。普通の折り紙は、商品にもよりますが約50kg程度です。

正しく最後まで折るための7つの基本

基本1 一度目は試作のつもりで折る

試作でも気を抜かずについていないに折ることが大事

基本2 よく折り図を見ながら折る

折り筋だけでなく、矢印の方向にも注意する

基本3 折り筋は正確に、はっきりとつける

折り筋があいまいなのは、間違いの原因になる

基本4 複雑な図では「山」と「谷」の折り筋を確認

折り筋は「山」と「谷」しかないの、どちらなのかを確認ししっかりと折り筋を付け直してみる

基本5 紙を図と同じ向きに並べ

正しく折れているか確認

急ぎすぎるのはミスのもと。あせらず見比べていこう

基本6 少し先の図を見て

折った後の形をイメージする

全体の流れや形の変化、どこが何になるかを把握する

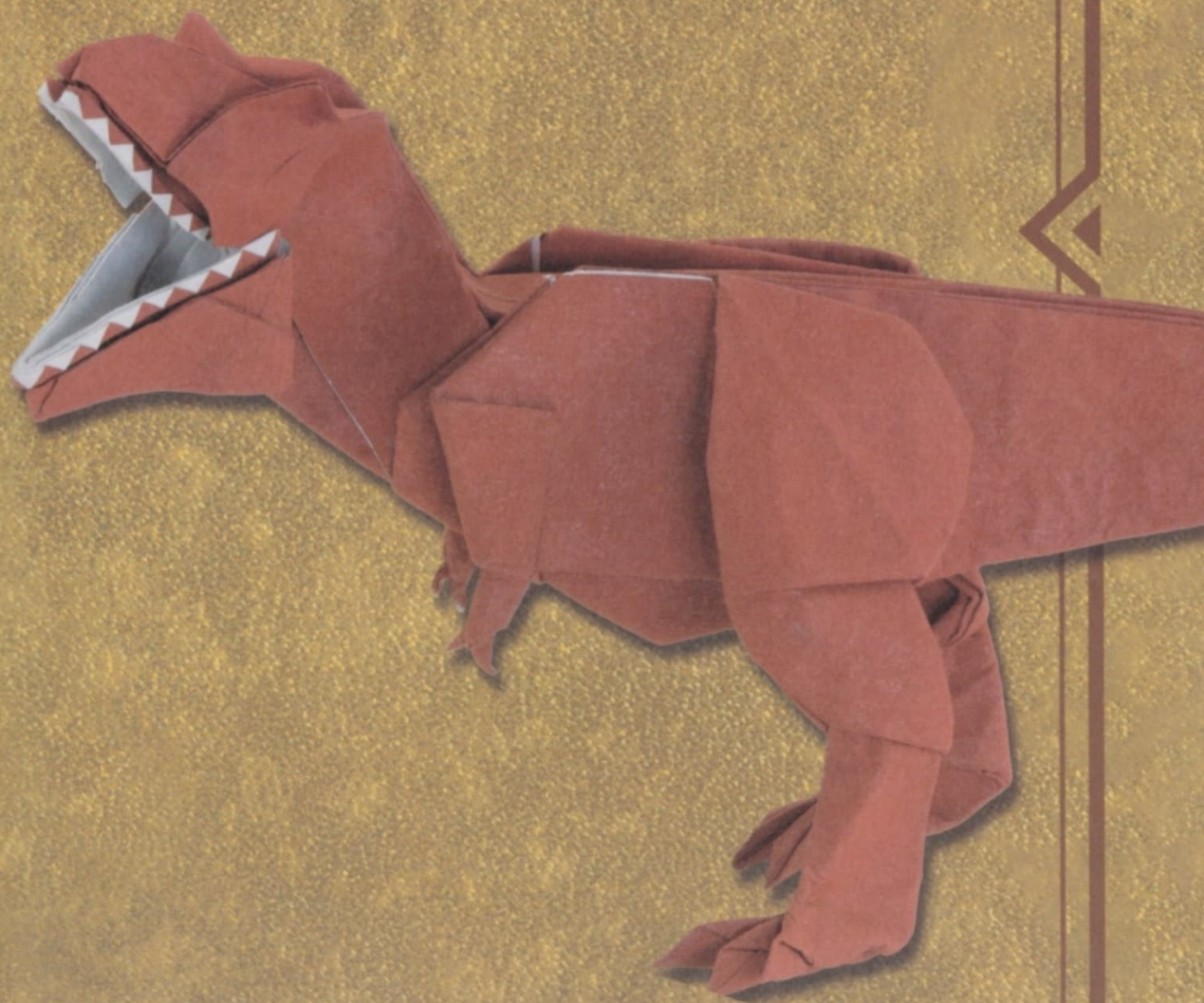
基本7 最初から折り直す勇気を持つ

紙がぼろぼろになったら思い切って折り直す。少しの破れなら、セロハンテープで裏から貼り合わせ進めてもよい

折り紙ダイナソーズ プレミアム

ORIGAMI DINOSAURS

PREMIUM



萩原 元 Hagiwara Gen



1990年、東京生まれ。幼少の頃より吉澤章氏や笠原邦彦氏の本で折り紙に親しみ、中学生の頃から本格的に創作を始める。主な創作対象は動物や鳥など生物全般で、見た目の写実性の追求よりも創作対象の愛嬌や動きを感じられる作品作りを心がけている。折りやすいだけでなく折っていて楽しい工程を探すのも創作の楽しみの一つ。著書に『萩原元折り紙作品集』(おりがみはうす)、『Spirits of Origami』(Origami-shop.com) 等がある。HP: www.genorigami.com

袋井 一樹 Fukuroi Kazuki



1995年生まれ。兵庫県西宮市出身。診療放射線技師。3～4歳頃から折り紙に親しみ、小学生の頃視聴したTVチャンピオンをキッカケに本格的に折り紙にのめり込む。現在は書籍への作品提供や講師などを中心とした活動を行っている。主な創作対象は動物で、折り紙特有の幾何学的な特徴を残しつつ、モチーフの特徴を捉える作品を目指し創作している。古生物は、現生物と違い実際の姿を見られないことが、返って創作を面白くしていると考えている。

今井 雄大 Imai Yudai



1995年生まれ、兵庫県出身。4歳のころから折り紙に親しむ。同時期に恐竜にも興味を持ち、折り紙で恐竜を作りたいと思い、やがて作品創作に挑戦するようになった。京都大学在学時に折り紙サークル「いまじろ～」に所属。現在はSNSやYouTubeチャンネル「折り紙マイマイ/origami maimai」での作品発表のほか、折り紙教室などの活動を行っている。著書に『マイマイのユルかわ! 最強折り紙』(河出書房新社)がある。

川畑 文昭 Kawahata Fumiaki



折紙作家。1957年長野県生まれ、愛知県在住。現在日本折紙学会顧問。幼少より折り紙やペーパークラフトなどに親しみ、1980年代から創作折り紙の発表や各地での展示を行っている。1995年国際交流基金の派遣により東南アジア訪問。1999年カナダドラムヘラー Royal Tyrrell Museumにて折り紙作品展示。2012年、スペイン折紙協会の招待によりコンベンション参加。著書に『川畑文昭おりがみ作品集』(おりがみはうす)、『絶滅生物のおりがみ』『創作折り紙発想と技法』(誠文堂新光社)等。

合谷 哲哉 Gotani Tetsuya



アコーディオン奏者。折り紙作家。1974年生まれ。プロ演奏家としてフランスで活動するかたわら、現地の子どもたちに折り紙を教え始める。教える折り紙が底をつきシンプルな作品の創作を始める。川畑文昭氏の『恐竜のおりがみ』で複雑系折り紙に出会い衝撃を受け、自らも複雑系折り紙の創作を始める。主に動物や恐竜などの生き物を題材とした創作が多い。フランスでも創作者が増えてほしいという思いから、創作のヒントを学ぶワークショップなども試みている。

キム・ドンヒョン Kim Dong Hyeon



1997年生まれ、建築学科を卒業した。素敵な作品を作り出す先輩作家たちを見ながら、自分だけの素敵な作品を作りたいという思いで創作の道に入った。紙1枚で作られる形を使って建物の輪郭であるマスや建物の外観であるファサードをデザインし、建物の設計と卒業制作を進めてきた。単純な構造と簡単な技法で華やかなディテールを作る方法に関心が高いため、作品のほとんどを鶴の基本形のような伝承構造を利用して作っている。

パク・ジョンウ Park Jong Woo



1989年韓国生まれ、空港会社の乗務員として勤務中。主に22.5度を使って動物や恐竜などを創作している。折り紙はどんなに複雑になっても絶対に実際の姿と同じ形にはなれないことに注目し、最近は折り紙だけの線と面を利用して対象を表現することに集中している。そして自分が作った作品が自分も作りにくいということに懐疑心を持ち、以前とは違い、完成した形だけではなく、折る過程もなるべく面白く作るために努力している。

ユ・テヨン Yoo Tae Yong



1996年生まれ。現在グラフィックデザイナーとして働いており、同時に韓国折り紙協会創作委員として様々な折り紙活動を行っている。主に可愛い動物を中心に作品を作り、漫画や映画のキャラクターを作るのも好きである。作品を作る度にどうすればもっと折り紙らしい表現ができるか考えながら創作をしてきている。著書は『ユ・テヨン折り紙作品集』（おりがみはうす）および韓国折り紙作家たちと『ORIGAMI PRO』シリーズを毎年出版している。

ジェイソン・クー Jason Ku



機械工学博士。シンガポール国立大学の機械工学科専任講師。折り紙の数学、デザイン、製作をはじめ、工学的応用による変形可能な折り畳み構造を研究している。5歳から折り紙を始め、高校時代から自作品の創作を始めた。2005年に吉野一生基金のスペシャルゲストとして折紙探偵団コンベンションに招待される。現在、OrigamiUSAの理事長、MIT折り紙クラブOrigaMITの卒業生アドバイザー、NUS折り紙クラブNUSOrigamiの教授アドバイザーを務める。

勝田 恭平 Katsuta Kyohei



1986年生まれ。おりがみはうすスタッフ。日本折紙学会会員。主な創作対象は生物。好きな生物はニワトリ。現在はおりがみはうすのスタッフとして折り紙に関係した仕事をしながら、プライベートではこれまであまり使われてこなかった技法や新しい視点からの作品を模索し、作品の創作と折り図の制作を行っている。著書に『勝田恭平折り紙作品集』（おりがみはうす）がある。
ウェブサイト：<https://katsuta-origami.com/>

神谷 哲史 Kamiya Satoshi



1981年生まれ。愛知県名古屋市出身。おりがみはうすスタッフ。物心つく前から折り紙をはじめ、それから現在まで、ブランクなしで折り紙と付き合っている。現在、折り紙の可能性と限界との境界線を探して創作活動を続ける。著書に『神谷哲史作品集1～3』（おりがみはうす）、『神谷流創作折り紙に挑戦！—創作アイデアの玉手箱』（ソシム）がある。折り紙以外の趣味は自転車だが、長距離を走る時間がなかなか確保できないのが悩み。ウェブサイト：<https://www.folders.jp/>

吉野 一生 Yoshino Issei



1964年埼玉生まれ。中学生の頃より創作を始める。1989年「ギャラリーおりがみはうす」にて、木村良寿氏、西川誠司氏らと共に「恐竜おりがみ三人展」を開き、好評を博した。またこの展示がきっかけで「折紙探偵団（1999年より日本折紙学会と改称）」が結成された。若手のリーダー的存在であり、将来を期待された好青年であったが、3代目団長を務めた1996年8月11日にがんのため死去。享年32才の若さだった。

著者

山口 真 Makoto Yamaguchi

1944年、東京生まれ。日本折紙協会事務局員を経て折紙作家として活躍中。1989年設立した折紙専門のギャラリー「おりがみはうす」を拠点に若手作家の育成、海外の折紙団体や作家との精力的な交流を行っている。日本折紙学会副会長、機関誌『折紙探偵団マガジン』元編集長・元事務局長。OrigamiUSA 永久会員、British Origami Society 会員、韓国折紙協会名誉会員。

著書は『四季を楽しむ ミニチュアおりがみボックス』（ナツメ社）、『1年中楽しめる 花の折紙』（日本ヴォーグ社）、『写真でわかる 決定版 おりがみ大百科』（西東社）、『たのしい折紙紙全集』（主婦と生活社）、『1年中飾れる かわいい折紙紙オーナメント』『キャッツ & ドッグスプレミアム』（ソシム）など、150冊を超える。

ギャラリーおりがみはうす

〒113-0001 東京都文京区白山 1-33-8-216

地下鉄・都営三田線白山駅
A1 出口前（通りを挟んで向かい側）

電話：03-5684-6040

※2024年3月現在一般公開を休止しています。
詳細についてはWEBサイトにてご確認ください。

E-Mail : info@origamihouse.jp

HP : <https://www.origamihouse.jp/>

日本折紙学会公式 HP: <https://origami.jp/>



折紙紙ダイナソーズ プレミアム

2024年 4月25日 初版第1刷発行

著者 山口 真

装丁／巻頭デザイン ingectar-e
本文制作／折り図編集 おりがみはうす(神谷 哲史・勝田 恭平)
撮影／編集協力 松浦 英子

発行人 片柳 秀夫
編集人 志水 宣晴
発行所 ソシム株式会社
<https://www.socym.co.jp/>
〒101-0064
東京都千代田区神田猿楽町 1-5-15
猿楽町 SS ビル
TEL03-5217-2400 (代表)
FAX03-5217-2420
印刷・製本 シナノ印刷株式会社

定価はカバーに表示してあります。

落丁・乱丁は弊社編集部までお送りください。

送料弊社負担にてお取り替えいたします。

●本書に掲載した折紙作品は、すべて各作家の考案によるものです。作品の著作権は各作家に帰属します。また本書に収録されている全ての折り図(折り方説明図)の著作権は、山口真に帰属します。著者および各作家の許可なしに本書の作品や折り図を、営利を目的とした活動に使用することを禁じます。

●本書の一部または全部について、個人で使用するほかは、著作権上、著者およびソシム株式会社の承諾を得ずに無断で複写／複製することは禁じられております。

●本書の内容の運用によって、いかなる障害が生じても、ソシム株式会社、著者のいずれも責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●本書の内容に関して、ご質問やご意見などがございましたら、ソシムのWebサイトの「お問い合わせ」よりご連絡ください。なお、電話によるお問い合わせ、本書の内容を超えたご質問には応じられませんのでご了承ください。

ISBN978-4-8026-1460-3 Printed in Japan

©2024 YAMAGUCHI Makoto

ISBN 978-4-8026-1460-3
C0076 ¥2400E



定価：2,640 円
(本体 2,400 円+税 10%)



**ORIGAMI
DINOSAURS**
PREMIUM